科目名	教科書名	副教材名
高校３年 総合進学・SG 物理研究	物理基礎（数研出版） 物理（数研出版）	イチから鍛える物理演習10min.（学研） 大学入学共通テスト攻略問題集ビーライン（第一学習社）

１．授業のねらい

① 基礎学力到達度テストや大学入試共通テストにおいて得点源となる基礎問題を反復し，実力を身につける。
② 物理に関する専門的な知識を身につけ，科学的思考能力を身につける。

２．授業のすすめ方

① 自宅で基本問題を反復し，公式の使い方を確認する。
② 授業で入試頻出問題を解き，多角的に解説する。

３．学習上の留意点

① 基礎力を定着させるために，基本問題集を活用して自宅で復習を行う。
② 授業の進行に沿って解ける問題から解いていくようにする。特に間違えた問題は自分の弱点であるので，印をつけて改めて解いてみること。何度取り組んでも分からない問題については，質問をする。
③ 授業では説明をしっかりと聞き，疑問点等はその都度，質問をする。
④ 重要事項を板書するので，必要に応じてノートに写し取ること。板書されていなくても，話した内容をノートにメモしておくことで，内容理解の助けになる。
⑤ 必要に応じてプリントを配付するので，利用する。
⑥ 授業があったその日のうちにノートを見返して復習を行う。
⑦ 大学進学に向け，情報を広く集めて欲しい。早期に進路を決定し，対策を練って実践してほしい。

４．副教材・参考文献

上記の副教材を使用する。他に，自分にあった参考書・問題集を用意しておくとよい。
スタディーサプリなどの web 教材も日々の学習に活用して欲しい。
マーク式問題集「大学入学共通テスト攻略問題集ビーライン物理」は夏季課題とする。
基礎学力定着のために基本問題を反復し，応用問題で理解力を定着させ，大学入試（基礎学力到達度テスト）での得点源とする。大学入試を意識し，自分に合った学習法を確立させること。

５．評価の視点・テスト・課題等

定期考査による学習の到達度（100 点×3 回）と平常点 30 点（提出物・授業態度・実験実習の取組み状況など）で年間を通して評価する。
考査ごとに問題集ノートの提出を行う。実験を行った場合は，レポートの提出を行う。
問題集ノート・実験レポートの他，授業中の課題，宿題，実力テスト等の取り組みの状況を加味して平常点をつける。

６．定期考査

定期考査は各回 100 点満点の問題で，1 学期中間・期末，2 学期期末の 3 回実施する。

７．授業計画

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4 5 6 7	・1 力学 01 等加速度運動 02 運動の法則 03 剛体のつりあい 04 仕事とエネルギー 05 力積と運動量 06 円運動 07 万有引力 08 単振動 ・2 熱 22 熱量保存則 23 気体の熱力学 【１学期中間考査】 ・3 波動 16 波の性質 17 弦・気柱 18 ドップラー効果 19 屈折の法則 20 レンズ 21 波の干渉 ・4 電磁気 09 電場と電位 10 コンデンサー 11 直流回路 【1 学期期末考査】 ※ 夏期講習で物理の講座を開設予定	問題集ノート提出 問題集ノート提出 夏期課題 「ビーライン物理」	・授業で使用する問題集用ノートを作成し，基本問題・応用問題を各自自宅で取り組む。 ・力学・波動・電磁気学・熱力学・原子と 5 項目に分け，更に細分化して入試必須項目を確認し学び，理解する。 ・マーク式問題及び大学入試問題を適宜取り入れ，入試問題に挑戦する。間違えやすいポイントをおさえる。 ・前述の 5 項目での己の弱点を再確認し克服する事を目的とし，取り組む。 ・夏季休暇中の学習計画を綿密に立てる。夏期講習を利用しながら弱点の把握と克服を目標とし，力を入れる。
二学期	9 10 11 12	マーク式問題演習 ・4 電磁気 12 磁場 13 荷電粒子の運動 14 電磁誘導 15 交流回路 ・5 原子 24 粒子生と波動性 25 原子の構造 26 原子とエネルギー 物理学実験 問題演習 【2 学期期末考査】	《基礎学力到達度テスト》 実験レポート提出 問題集ノート提出	・記号選択式の問題を解くことにより，出題形式及び時間配分に慣れる事を目的とし，基礎学力到達度テスト本番に備える。 ※マークシート対策も心得ておく。 ・磁気及び原子分野は基礎学力到達度テストの範囲外の項目である。一般受験及び進学後の常識として，演習や実験を交えながら理解を深める。
三学期	1 2 3	特別編成授業		